

MOZZA

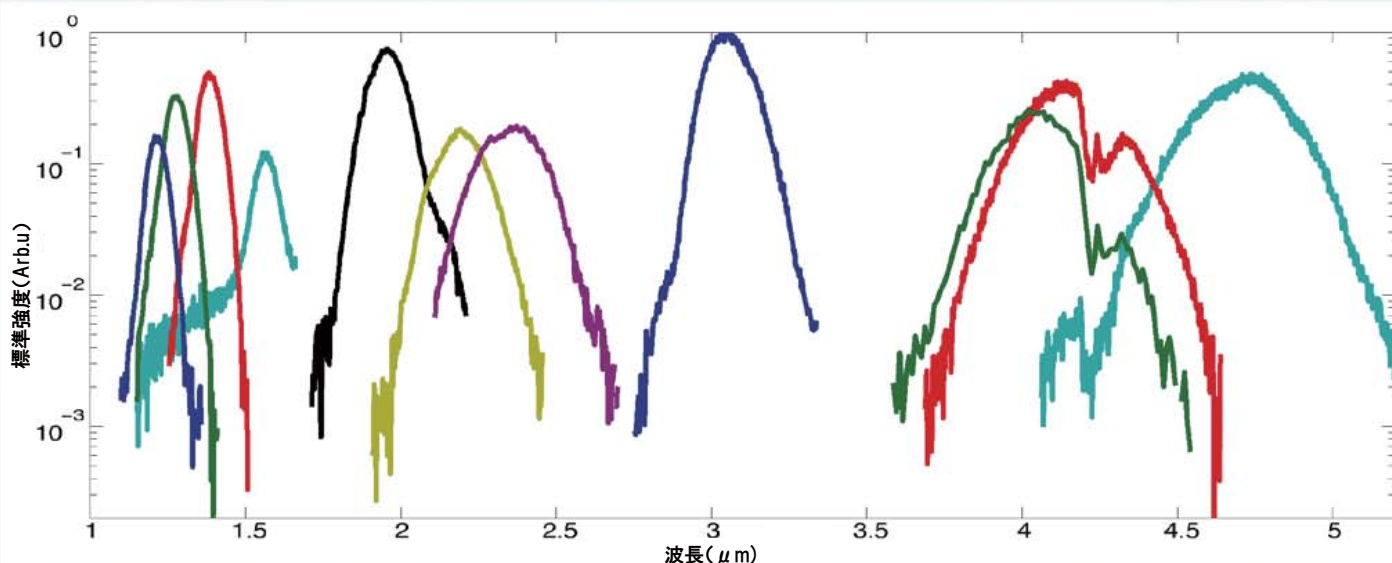
多重オクターブスペクトラムアナライザー
数HzからマルチkHzまでのパルス化された赤外光源に最適



- ・ 1 ~ 5 μm の波長範囲のスペクトル検出を一度の設定で実現
- ・ データをリアルタイムに表示
- ・ 優れた安定性、稼働部品なし
- ・ レーザーにおけるエネルギー変動の影響を受けにくい
- ・ ダイナミックレンジ: 40dBまで
- ・ 高度な検出モード(数値的なロックイン検出など)

Mozza製品は、操作が容易なターンキー型・波長スキャン分光器で、パルス化された赤外光源のスペクトル測定に最適です。繰り返し周波数は、下記のように数HzからマルチkHzまで対応します。

- ・ フェムト秒発振器【イッテルビウム(Yb)、ツリウム(Tm)、クロム(Cr)など】
- ・ フェムト秒パルスのOPA(シグナル光出力・アイドラー光出力・差周波発生時の出力)
- ・ 超広帯域パルスのOPCPA



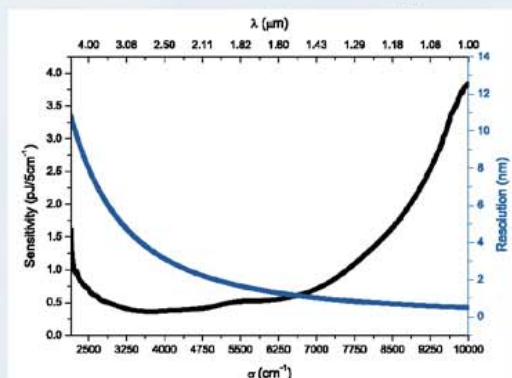
Mozzaにより計測された フェムト秒パルスOPAによるシグナル光出力・アイドラー光出力・差周波発生時の出力
(スイスにあるポール・シェラー研究所(PSI)所属のChristoph Hauri研究員グループのご厚意により提供)

MOZZA

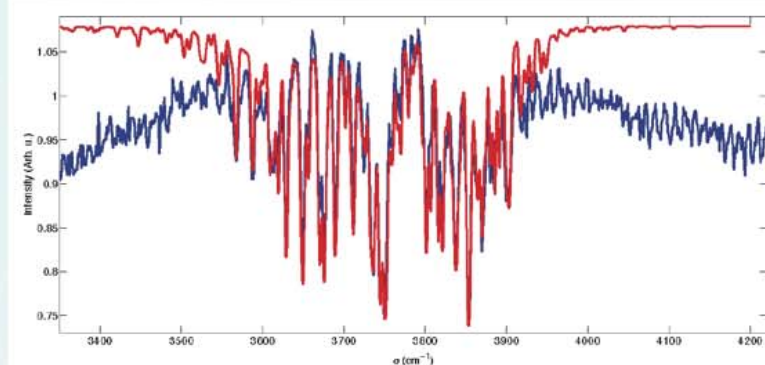
仕様

MOZZA 1-5	
スペクトル領域	1 ~ 5 μm (2000 ~ 10000 cm^{-1})
スキャン速度	レーザー繰り返し周波数25kHzまで
スペクトル分解能	5 cm^{-1}
感度	位置分解能ごとに0.5pJまで(下記の感度曲線を参照)
ダイナミックレンジ	40dBまで
検出帯域幅	ゲイン設定に応じて50/200kHz

典型的なキャリブレーション 及び 特性のデータ



Mozza1-5で計測した感度曲線



水蒸気の吸収線
赤:理論的に取得(HITRANデータベースに基づくシミュレーションによって)/青:実験的に取得

寸法 及び レーザー条件

入力パルス

- ・ 偏光方向 直線・垂直
- ・ ビームの高さ 38.1mm(1.5インチ)まで調整可能
- ・ 入力ビーム 入射スリットに集光、平行光

寸法: 317.4 x 210 x 157 mm

トリガー信号:TTL

PCのシステム要件(対応OS)

- ・ Windows 7
- ・ USB2.0ポート 1系統
- ・ メモリ:1GBのRAM

